

経001	項目名	スマート・エネルギー・タウン構想推進事業費	
予算書項目	地域経済活性化促進事業費	ページ	27
年度	H30		
会計名	一般会計		
款	商工費		
項	商工費		
目	商工業振興費		
(単位:千円)			
補正前額	6,455		
要求額	227		
総務部長段階査定額	227	その他財源の内訳	
市長段階査定額	227	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	227	
	計	227	
行財政改革課処理欄			

事業の概要

【問合せ先】 地域経済係 0857-20-3249

【10次総の施策体系】 2102

【事業の経過及び背景】
 現在整備中の気高道の駅の熱需要（足湯、厨房給湯）をまかなうため薪ボイラーを導入することとしているが、これに合わせて地域に豊富に存在する薪を地域内で安定的に生産・消費する地産地消システムを確立し、地域の低炭素化、地域内資金循環の拡大、林業振興などが図られれば、新たなビジネスチャンスが生まれる。

【事業の目的及び効果】
 地域住民から森林関係者まで地域内の多様な主体に利益が還元されることを目指して、林野庁等所管の「平成30年度『地域内エコシステム』構築事業」を活用して地域協議会を設立し、研究を重ねながら森林資源を地域内で持続的に活用する仕組みを構築する。

【事業の内容】
 林業振興や木質バイオマスに関する専門家の派遣を受けながらの地域協議会開催（年3回予定）及び先進地視察

所 属 名
経済観光部 経済・雇用戦略課

経002	項目名	ミニポートピア環境整備対策費	
予算書項目	地域経済活性化促進事業費	ページ	27
年度	H30		
会計名	一般会計		
款	商工費		
項	商工費		
目	商工業振興費		
(単位:千円)			
補正前額	0		
要求額	246		
総務部長段階査定額	246	その他財源の内訳	
市長段階査定額	246	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	246	
	計	246	
行財政改革課処理欄			

事業の概要

【問合せ先】 商業振興係 0857-20-3222

【10次総の施策体系】 2103

【事業の経過及び背景】
 平成23年4月にミニポートピア鳥取が、鳥取市南限にオープン。それに伴い、地元自治会・ポートピア鳥取の設置者の兵庫県尼崎市・事業者・鳥取市の間で、「鳥取場外発売場周辺対策協議会」を設置し、場外発売場の運営に伴い発生する諸問題について、協議・調整を行い、対策を実施している。

【事業の目的及び効果】
 「鳥取場外発売場周辺協議会」において、ミニポートピア周辺の除草・剪定等が提案された。当該業務を実施することで、周辺環境の整備を行う。

【事業の内容】
 除草・剪定等業務をシルバー人材センターに委託。周辺環境の整備に合わせ、高齢者の雇用の拡大を図る。
 ○ 通年：年2回（6月・10月頃）の除草作業
 ※平成30年度は1回実施予定

所 属 名
経済観光部 経済・雇用戦略課

経003	項目名	かみんぐさじ管理事業費													
予算書項目	伝統産業等支援事業費	ページ	27												
年度	H30														
所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課														
会計名	事業の概要														
一般会計	【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249														
款 商工費	【10次総の施策体系】2103														
項 商工費	【事業の経過及び背景】 和紙生産伝習施設「かみんぐさじ」は、佐治地域の和紙産業の振興、地域住民の就業拡大及び伝統産業の普及啓発を目的に平成7年度に設立。平成18年度から指定管理者制度へ移行。														
目 商工業振興費	【事業の目的及び効果】 指定管理者制度導入で、管理経費の縮減と民間知識活用によるサービス向上を図るとともに、地域の特産民芸品の発展を目指す。														
(単位:千円)	【事業の内容】 和紙業界全体で後継者確保が喫緊の課題である中で、後継者確保に向けた取組を行うための指定管理料の増額を行う。 (1) 指定管理者に対する委託料(指定管理料)の支出 2,089千円 (2) 経年劣化に伴う和紙生産器具の購入 216千円														
補正前額	2,392	<p><実績></p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>指定管理料等</td> <td>施設利用者</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>1,445千円</td> <td>10,073人</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>1,925千円</td> <td>10,364人</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>1,925千円</td> <td>9,161人</td> </tr> </table>			指定管理料等	施設利用者	平成27年度	1,445千円	10,073人	平成28年度	1,925千円	10,364人	平成29年度	1,925千円	9,161人
	指定管理料等			施設利用者											
平成27年度	1,445千円			10,073人											
平成28年度	1,925千円			10,364人											
平成29年度	1,925千円			9,161人											
要求額	2,305														
総務部長段階査定額	2,305														
市長段階査定額	2,305														
区分	補正額														
財源内訳	国・県支出金			0											
	地方債	0													
	その他	0													
	一般財源	2,305													
	計	2,305													
行財政改革課処理欄															

経004	項目名	ビジネスマッチング支援事業費		
予算書項目	中小企業新規開発奨励事業費	ページ	27	
年度	H30			
所属名	経済観光部 企業立地・支援課			
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】誘致・支援係 0857-20-3223			
款 商工費	【10次総の施策体系】2102			
項 商工費	【事業の経過及び背景】 有効求人倍率が1倍を超え、雇用情勢が改善傾向で推移しているが、市内製造業の1人当たりの付加価値額が山陰他都市に比べ低い状況にある。			
目 商工業振興費	【事業の目的及び効果】 中小企業等が商品、製品等の販路開拓を行うことにより、新たな販売ルートを開設し、中小企業等の販売力及び競争力を向上させ、もって本市の産業振興を図る。			
(単位:千円)	【事業の内容】 展示会出展事業 対象者 : 市内に事業所を有する中小企業者で、製造業、道路貨物運送業、倉庫業、梱包業、ソフトウェア業、デザイン業、機械設計業、情報処理・提供サービス業、インターネット附随サービス業などの事業を営むもの 対象経費 : 出展料、会場備品等リース料、印刷製本費、旅費、通訳費、展示品搬送料 補助金額 : 対象経費の2/3 限度額 : 1回目 30万円、2回目 25万円、3回目 20万円 (海外の場合はいずれの回数の時点でも50万円) ※一企業につき、通算して国内・国外合わせて3回を限度とする。 ※国、県などから同様の補助等を受けていない事業とする。			
補正前額	3,000	<p>上記補助事業に係る活用希望企業の見込みが増加したことにより増額補正を行うもの。</p>		
要求額	1,650			
総務部長段階査定額	1,650			
市長段階査定額	1,650			
区分	補正額			
財源内訳	国・県支出金			0
	地方債			0
	その他			0
	一般財源			1,650
	計			1,650
行財政改革課処理欄				

経005	項目名	観光地施設整備事業費
------	-----	------------

予算書項目	観光施設整備事業費	ページ	29
-------	-----------	-----	----

所 属 名	経済観光部 観光戦略課
-------	----------------

年度	H30
----	-----

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	観光費

(単位:千円)

補正前額	17,444
------	--------

要求額	420
-----	-----

総務部長段階査定額	420
-----------	-----

市長段階査定額	420
---------	-----

区 分	補正額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	420
計	420

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収入	0
その他	0

行財政改革課処理欄

事業の概要
<p>【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227</p> <p>【10次総の施策体系】2201</p> <p>【事業の目的及び効果】 観光資源の景観等保持、観光地施設の整備および維持管理等により、観光地のイメージアップ、観光入込客数拡大などの観光振興を図る。</p> <p>【事業の内容】 気高町観光センターのエアコンが経年劣化による故障で稼働しなくなったため、新たなエアコンを設置し、利用者の安全・快適な環境を提供する。</p>